



ご挨拶

早春の候、弘願院の檀信徒の皆さまにおかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より弘願院の寺門興隆のため種々ご尽力賜り厚く御礼申し上げます。

金沢に家族で引っ越してきて早くも6か月が経ちました。つい先日引っ越しが終わり、荷物整理をしていたかと思えばいつの間にか年を越え、新しい春を迎えようとしています。年々、月日が経つのが早く感じる次第であります。

2019年度の行事予定等が決まりました。お釈迦さまが説かれた仏教の教え、法然上人が説かれた浄土宗の教えをもとに、弘願院が檀信徒の皆さまの心の拠り所となるように励んでまいります。変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

弘願院 森岡 達圭

安養 ～弘願院だより～ の発行にあたって

この度、「安養（あんによう）～弘願院だより～」を発行いたしました。安養（あんによう）とは「安養世界」「安養国」という言葉があるように、阿弥陀如来さまがおられる「極楽浄土」の別名のことです。また、弘願院の山号でもあります。山号とはお寺の別の呼び方でもあり、弘願院の正式な名称は

“安養山 弘願院”（あんにようざん ぐがんにん）なのであります。

この寺報を発行するに至った経緯は、弘願院の活動や各種ご案内も含め、寺院の活動をより分かりやすく皆さまにお伝えしたいと感じたからです。

お住まいの場所によって、お寺までの距離が近い・遠いということはありませんが、「心の距離」はいつも側にあると感じていただけるように、定期的に発行し、よりわかりやすく仏さまの教え、浄土宗の教えをお伝えしてまいります。

年間行事について

2019年度の弘願院の各法要の日時が決定しました。各行事の前にはそれぞれ改めてご案内させていただきます。法要の後には法話のお時間をいただいております。各行事の由来や仏教について、浄土宗の教えについてお取次ぎさせていただきます。ご家族の方と調整いただき、是非ともおまいりください。一人でも多くの方がおまいりいただけることを願っております。

2019年度 弘願院 年間行事一覧

3月21日(木祝)

春季彼岸会

(しゅんきひがんえ)

【当番寺院:大円寺様(寺町5丁目)】

「彼岸」は、(かなたの岸)という意味があり、阿弥陀さまがおられる西方極楽浄土を意味します。極楽浄土への思いを新たにすると共に、我々と共に生きている様々な「命」の有り難さを改めて考える機会です。



4月28日(日)14時より

法然上人御忌会

(ほうねんしょうにんぎよきえ)

浄土宗を開かれた法然上人の亡くなった忌日を偲び、そのお徳を讃える法要です。浄土宗の総本山、京都の知恩院で開かれる特別な法要でしたが、今では全国各地の浄土宗寺院でも法要が行われています。



6月29日(土)14時より

施餓鬼会

(せがきえ)

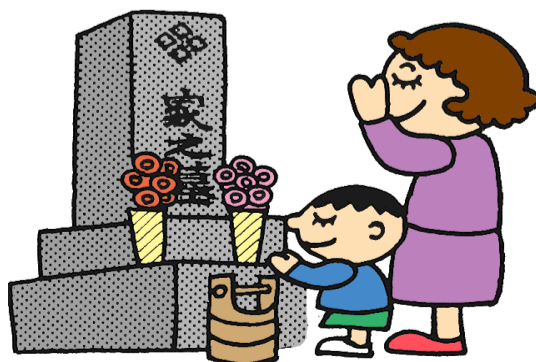
「餓鬼」は生前に物惜しみや嫉妬の思いが強く、そうした行いの報いとして飢えや渇きに苦しむ餓鬼道に堕ちた者を意味します。この施餓鬼会は餓鬼に食べ物などを施し、供養する法要です。法要でおとなえしたお経や、お念仏の功德をご先祖に振り向け、極楽での安穩と、併せて私たちの福德延寿を祈るのです。極楽浄土からご先祖を迎えるお盆とは少し異なり、施餓鬼会は自他ともに救われる功德を積むことが大切とされています。



7月13日(土)～16日(火)

お盆

金沢市内は「新盆」としてお盆を迎える風習があります。お墓参りだけではなく、どうぞ本堂に上がっていただき、ご本尊である阿弥陀さまへもご挨拶にお越しくください。



9月23日(月祝)

秋季彼岸会

(しゅうきひがんえ)

【当番寺院:浄安寺様(寺町5丁目)】

春彼岸同様に極楽浄土への思いを新たにします。そのご縁を作ってください。ご先祖さまへの真心を捧げることができる大切な機会です。季節の移ろいを感じながら、ぜひ家族そろってお寺参り・お墓参りをし、先立たれたご先祖を偲び、感謝の気持ちを捧げましょう。

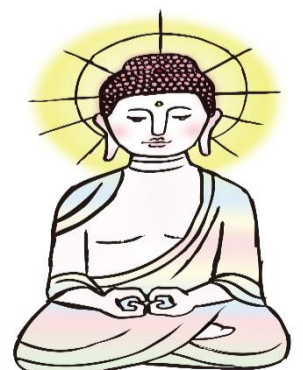


10月27日(日)

十夜法要

(じゅうやほうよう)

浄土宗でよりどころとするお経に「十日十夜のあいだ、善行を行うことは、他の仏の国で、千年ものあいだ、善行を励むよりもすぐれている」との一説が由来です。もちろんその善行とは「南無阿弥陀仏」とお念仏をとこなえることです。行事の秋ともいわれる季節、十夜法要に参拝して「お念仏の秋」をお過ごしください。



法要についての補足説明

①その他の法要・行事について

お釈迦さまにゆかりのある「花まつり」や、ひたすらお念仏をとる「別時念仏会」・「写経会」など、法要・行事の種類は沢山あります。左のページ以外にも行事を通じて仏さまとご縁を共に深めていける行事を模索しております。ご案内や詳細はまた別途連絡いたします。

また、弘願院には「加賀縫い」という手法で作成された刺繍の涅槃図が寺宝としてございます。この涅槃図は期間を定めて掲げております。今年はお彼岸の期間中に本堂脇に掲げております。簡単な涅槃図の説明もさせていただきますので、是非ともお参りください。



②春秋の彼岸法要について

寺町・長町・泉の範囲に弘願院を含めた浄土宗のお寺が数ヶ寺あります。御忌・施餓鬼・十夜の各法要は他のお寺でも勤められています。弘願院の法要も各お寺の住職さまにお越しいただき法要を勤め、また他のお寺で行われる御忌・施餓鬼・十夜法要にも参加しています。つまりお寺同志が協力しあって互いに行き来し、各お寺で各法要を勤めているのです。

彼岸法要は年2回（春・秋）ですが、この彼岸法要だけは法要を持ち回りで実施しており、上記の法要（御忌・施餓鬼・十夜）とは違い、毎年春・秋それぞれ実施されるお寺が決まっています。

（弘願院は2016年3月の春彼岸が当番の年でした。）

2019年は春彼岸：大円寺さま（寺町五丁目）／秋彼岸：浄安寺さま（寺町五丁目）

この彼岸法要では会場となったお寺さまで、ご先祖様のご回向をさせていただく機会がございます。回向用紙が必要な方はお寺にご連絡ください。また、お彼岸の期間中に弘願院にお墓参りに来られた際も是非ともお声かけください。

2019年度 年回表

ご法事の日程は早めにお寺に相談ください。

一周忌	平成30年亡	二十七回忌	平成5年亡
三回忌	平成29年亡	三十三回忌	昭和62年亡
七回忌	平成25年亡	三十七回忌	昭和58年亡
十三回忌	平成19年亡	四十三回忌	昭和52年亡
十七回忌	平成15年亡	四十七回忌	昭和48年亡
二十三回忌	平成9年亡	五十回忌	昭和45年亡
二十五回忌	平成7年亡	百回忌	大正9年亡

回向とは

回向（えこう）とは「回し向ける」という意味があります。少し掘り下げると、自分が行った善い行いをめぐらしひるがえして、他のために差し向ける、ということです。善い行いをすることによって、その人に備わる徳を功德と言います。「南無阿弥陀仏」とお念仏をと念える、その功德は自身が極楽浄土へ往生する為のものであると同時に、極楽浄土におられるご先祖さまが極楽浄土で仏さまになるための修行が一層進むように各法要でお念仏の功德を回し向けているのです。

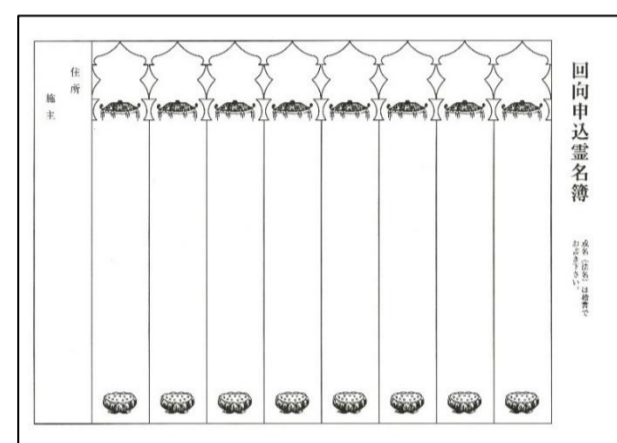
ですから各法要でご回向させていただくために、回向用紙にご先祖さまの戒名を記していただきたいのです。

是非とも各法要にお参りいただき、一緒にお念仏をと念えながらご回向いたしませんか？また遠方の方におかれましては直接のお参りが困難な場合でも、是非ともご回向させてください。もちろん、ご都合の合う時は是非ともお参りください。浄土宗の教えの要でもある「南無阿弥陀仏」とと念えるお念仏は「いつでも・だれでも・どこでも」できる立派な善根功德を積む修行の一つです。

浄土宗のお経に『総回向偈』という偈文があります。

がんにしくどく びょうどうせいっさい
願以此功德 平等施一切（願わくは此の功德を以て平等一切に施し）
どうほつぼだいしん おうじょうあんらくこく
同発菩提心 往生安楽国（同じく菩提心を発して安楽国に往生せん。）

【願わくはこれまで修めてきたすべての功德を、平等にあらゆる人々に施して、共々に悟りを目指す心をおこして、阿弥陀仏の極楽浄土に往生が叶いますように。】



回向用紙の見本

このお経の御心のように、お念仏をと念える私のみならず、一切の人々の幸せを願う大きな心を常に心がけたいものであります。

絹本地刺繍仏涅槃図の公開（金沢市指定文化財）

弘願院には江戸時代に刺繍で作成された大変珍しい涅槃図があります。またこの涅槃図には作成を発起された方、その作成に賛同いただいた多くの方のお名前やご戒名も縫われています。当時の厚い信仰がこの現代にも伝わっています。期間中に本堂脇に掲げておりますので、是非ともお越しください。お時間許す方は、簡単に涅槃図等の法話もさせていただきます。

涅槃図掲示期間 3月18日（月）～24日（日）16時前後まで

※19日（13:30-15:30）：本堂にて御詠歌の稽古（お稽古中もお入りください。御詠歌の様子も是非ご覧いただけたらと思います）

21日（12:00-16:00）／23日（10:30-13:00）：他寺様での法要参加。（この時間、私は弘願院におりません）

ですが、本堂にはお参りできるよう準備しておりますので気軽にお声かけください。日程の確認等、不明な点がございましたらお寺にご連絡ください。電話でもメールでもかまいません。

編集後記

この度初めて寺報を作成しました。改めて想いを文章にする難しさを実感いたしました。文字が多く見にくい点多々ありますが、なにとぞご容赦ください。今後は日々研鑽を重ね、文章でも法話でもより簡潔にわかりやすくお伝えできるよう精進してまいります。

この「安養～弘願院だより～」を通じて、見えにくいわかりにくいお寺のこと、仏教のことが少しでも皆さまに届くことができれば幸いです。



浄土宗 安養山 弘願院（ぐがんにん）

〒921-8031 石川県金沢市野町 1-3-87

Tel: (076) 243-8024 Fax: (076) 243-5165

HP: <https://www.guganin.net/>

mail: guganin.jodo@gmail.com

Instagram: [guganin.housenji.jodo](https://www.instagram.com/guganin.housenji.jodo)

Twitter: [@guganin1645](https://twitter.com/guganin1645)



弘願院のHPやSNSも随時更新しています。どうぞご覧ください。

